

H27

## アクションプラン全体計画（平成23～27年度）

推進項目	11 マネジメントの強化・高度化				重要度	A	
番号・取組事業名	11001	職員の綱紀粛正	作成日	H27.4.1	更新日	H28.3.31	
担当部署	030200	総務部 人事課	責任者	鬼澤 徹雄	担当者	人事・人材育成担当	
取組年度	H23	～	H27				
効果	その他改善						
最終目標	全職員が、高度な公務員倫理及びコンプライアンス意識を保持すること						
年度	区分	取組内容・目標					
平成23年度	遅れている	公務員倫理, コンプライアンスに関する研修の実施・強化, コンプライアンスガイドブック等作成					
平成24年度	計画どおり	公務員倫理, コンプライアンスに関する研修の実施・強化					
平成25年度	計画どおり	公務員倫理, コンプライアンスに関する研修の実施・強化					
平成26年度	計画どおり	公務員倫理, コンプライアンスに関する研修の実施・強化					
平成27年度	計画どおり	公務員倫理, コンプライアンスに関する研修の実施・強化					
成果指標	指標名	公務員倫理, コンプライアンスに関する研修				単位	回
	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	最終値
	計画値	3	3	2	2	3	13
	実績値	3	2	2	2	3	12
効果額	歳入増加	計画額					0
		実績額	0	0	0	0	0
	歳出削減	計画額					0
		実績額	0	0			0
	計	計画額	0	0	0	0	0
		実績額	0	0	0	0	0
見込まれる その他効果 (金額以外)	業務全体の適 正化・円滑化	業務全体の適 正化・円滑化	業務全体の適 正化・円滑化	業務全体の適 正化・円滑化	業務全体の適 正化・円滑化		

H27

## アクションプラン(平成27年度)

推進項目	11 マネジメントの強化・高度化				重要度	A	
番号・取組事業名	11001	職員の綱紀粛正	作成日	H27.4.1	更新日	H28.3.31	
担当部署	030200	総務部 人事課	責任者	鬼澤 徹雄	担当者	人事・人材育成担当	
		区分	取組内容・目標				
平成27年度	計画どおり	公務員倫理, コンプライアンスに関する研修の実施・強化					
取組項目			4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	
1	新規採用職員を対象とした公務員倫理, コンプライアンスに関する研修の実施		○				
2	新規採用職員を対象としたSNS(ツイッター, フェイスブック等)による情報発信に関する研修の実施		○				
3	管理職層を対象とした公務員倫理, コンプライアンスに関する研修の実施		○				
4	所属長を対象とした公務員倫理, コンプライアンスに関する研修の実施				○		
5							
6							
7							
8							
9							
10							
進捗							
上半期	進捗状況	計画どおり	コメント	新規採用職員を対象として, 4月に公務員倫理とコンプライアンスに関する研修と, SNSによる情報発信に関する研修を実施した。また, 新たに管理職に昇格した者を対象として, 4月に公務員倫理とコンプライアンスに関する研修を実施した。			
進捗・実績							
年度末	成果指標名	公務員倫理, コンプライアンスに関する研修		計画値	単位 3 回	実績値	単位 3 回
	達成状況【成果】	達成	コメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>採用職員研修(1部)において, 新規採用職員(140人)を対象に公務員倫理に関する研修を実施した。</li> <li>また, 若手職員を中心として, SNSを利用する職員が増えていることから, 新規採用職員を対象とした研修には, 情報発信におけるリスクについての項目を追加し実施した。</li> <li>新任管理職研修において, 6級(主幹級)職員(43人)を対象にコンプライアンス・リスクマネジメントに関する研修を実施した。</li> </ul>			
	進捗状況【活動】	計画どおり					
	計画変更(次年度以後)	取組内容		コメント			
計画値							
評価	評価者	石黒 博	※重要度A事業は副市長, 重要度B事業は部局長を評価者とする				
	総合評価(A・B・C)	B	コメント 指示事項	OJTなど各部署における取り組みを強化すること。			
	方向性	取組み強化					

H27

## アクションプラン全体計画（平成23～27年度）

推進項目	11 マネジメントの強化・高度化				重要度	A		
番号・取組事業名	11003	行政経営方針・アクションプランの進行管理		作成日	H27.4.1			
担当部署	020200	企画部 行政改革推進課		責任者	岩崎 克康			
取組年度	H23	～	H27					
効果	その他改善							
最終目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・H27までに行政経営方針に位置付ける経営健全化の数値目標の達成</li> <li>・H27までの各年度、アクションプランに位置付ける取組みの進行管理及び評価の実施</li> </ul>							
年度	区分	取組内容・目標						
平成23年度	遅れている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アクションプランの新規募集、上半期の報告、年度末の報告については計画どおり実施</li> <li>・外部評価については、年度末の報告を基に、次年度から実施予定</li> </ul>						
平成24年度	計画どおり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進捗管理(新規募集、上半期報告、年度末実績報告)は計画どおり実施</li> <li>・平成23年度の取組みについて、行政改革推進委員会に報告(外部評価)。</li> </ul>						
平成25年度	計画どおり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規募集、上半期報告、年度末実績報告、行政改革推進委員会への報告を予定どおり実施。</li> <li>・次年度も目標値の早期達成に向け、各取組を着実に進めていく。</li> </ul>						
平成26年度	計画どおり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規募集や継続事業の進行管理、完了事業の効果額捕捉等予定通り実施。</li> <li>・実施内容については行政改革推進委員会へ報告。次年度も各取組を着実に進めていく。</li> </ul>						
平成27年度	計画どおり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行政経営方針及びアクションプランの進行管理及び評価を行い、経営健全化の数値目標を達成した。</li> <li>・財政推計上の収支不足については、目標額を達成した。</li> </ul>						
成果指標	指標名	財政推計上の収支不足額の解消				単位	千円	
	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	最終値	
	計画値	970,000	550,000	1,010,000	2,060,000	3,220,000	7,810,000	
	実績値	1,462,042	2,454,038	2,438,820	3,249,645	3,809,724	13,414,269	
効果額	歳入増加	計画額	654,234	238,831	336,054	911,512	1,106,249	3,246,880
		実績額	485,487	605,402	1,013,590	1,337,708	1,399,339	4,841,526
	歳出削減	計画額	611,907	855,748	1,154,761	1,707,856	2,706,857	7,037,129
		実績額	976,555	1,848,636	1,425,230	1,911,937	2,415,723	8,578,081
	計	計画額	1,266,141	1,094,579	1,490,815	2,619,368	3,813,106	10,284,009
		実績額	1,462,042	2,454,038	2,438,820	3,249,645	3,815,062	13,419,607
見込まれる その他効果 (金額以外)								

## アクションプラン(平成27年度)

推進項目	11 マネジメントの強化・高度化				重要度	A	
番号・取組事業名	11003	行政経営方針・アクションプランの進行管理	作成日	H27.4.1	更新日	H28.3.31	
担当部署	020200	企画部 行政改革推進課	責任者	岩崎 克康	担当者	行政改革推進担当	
		区分	取組内容・目標				
平成27年度	計画どおり	・行政経営方針及びアクションプランの進行管理及び評価を行い、経営健全化の数値目標を達成した。 ・財政推計上の収支不足については、目標額を達成した。					
取組項目			4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	
1	各取組みの前年度の進捗・実績について、評価者による評価を実施		○				
2	新規取組みについて募集		○				
3	アクションプランの公表(26年度実績報告・27年度計画)			○			
4	行政改革推進委員会による外部評価の実施				○		
5	上半期進捗状況の取りまとめ				○		
6	アクションプランの公表(上半期進捗状況)					○	
7	年度末実績報告の取りまとめ					○	
8							
9							
10							
進捗							
上半期	進捗状況	計画どおり	コメント	前年度の取組みについては、評価者による評価を行った。前年度までの取組みにより、行政経営方針に掲げる財政指標や財源不足額は目標を達成した。また、引き続き行政改革の取組みを推進するため、新規事業を募集し、全12事業を採用した。ホームページにおけるアクションプランの公開は、行政改革推進委員会への報告後に実施する。			
進捗・実績							
年度末	成果指標名	財政推計上の収支不足額の解消		計画値	単位 千円 3,220,000	実績値	単位 千円 3,809,724
	達成状況【成果】	達成	コメント	平成27年度単年度においては、歳出削減は計画額に届かなかったものの、歳入増加が計画額を上回り、総合的に目標額を達成することができた。 平成26年度決算時点で、当初の予定よりも早く5か年の目標額を達成した。アクションプランの進捗状況について、行政改革推進委員会に報告するとともに、ホームページで公開した。目標額は達成したが、持続可能な行政経営をするべく、引き続き、PDCAサイクルを管理しながらアクションプランの進捗確認を行っていく。			
進捗状況【活動】	計画どおり						
評価	総合評価(A・B・C)	A	コメント 指示事項	地方財政対策や景気などの動向を注視しながら、適切な見通しを立て取り組むこと。			
	方向性	取組み強化					

H27

## アクションプラン全体計画（平成23～27年度）

推進項目	11 マネジメントの強化・高度化				重要度	A	
番号・取組事業名	11004	柏市保健所運営基本計画の進捗管理	作成日	H27.4.1	更新日	H28.3.31	
担当部署	170100	保健所 総務企画課	責任者	山崎 彰美	担当者	企画担当	
取組年度	H23	～	H27				
効果	その他改善						
最終目標	目標の達成のため、保健所運営基本計画に掲げた具体の方策について取り組む。 目標 1「安全・安心な暮らしのために」 ① 市民が身近に感じる保健所を目指して ② 健康危機管理機能の強化と体制整備 2「健やかで活力ある暮らしのために」 ① 市民一人ひとりが積極的な健康づくりに取り組めるために ② 病気になったとしても安心して地域で暮らせるために						
年度	区分	取組内容・目標					
平成23年度	計画どおり	保健所運営基本計画に明記した取り組みについて、概ね計画通り実施					
平成24年度	計画どおり	保健所運営基本計画の運用及び評価検証について、概ね計画通り実施					
平成25年度	計画どおり	保健所運営基本計画の運用及び評価検証、保健所運営基本計画の中間見直しについて概ね計画通り実施					
平成26年度	計画どおり	保健所運営基本計画の運用及び評価検証について、概ね計画通り実施					
平成27年度	計画どおり	保健所運営基本計画の運用及び評価検証について、概ね計画通り実施					
成果指標	指標名	保健衛生審議会への進捗状況の報告及び結果の公表回数				単位	回
	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	最終値
	計画値	2	3	2	2	2	2
	実績値	2	3	2	2	2	2
効果額	歳入増加	計画額					0
		実績額					0
	歳出削減	計画額					0
		実績額					0
	計	計画額	0	0	0	0	0
		実績額	0	0	0	0	0
見込まれる その他効果 (金額以外)	具体の方策についての取り組み状況の評価を行い、保健所運営に役立てる						設定した目標の実現

H27

## アクションプラン(平成27年度)

推進項目	11 マネジメントの強化・高度化				重要度	A	
番号・取組事業名	11004	柏市保健所運営基本計画の進捗管理	作成日	H27.4.1	更新日	H28.3.31	
担当部署	170100	保健所 総務企画課	責任者	山崎 彰美	担当者	企画担当	
		区分	取組内容・目標				
平成27年度	計画どおり	保健所運営基本計画の運営及び評価検証について、概ね計画通り実施					
		取組項目	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	
1		保健所の効果的な情報発信(保健所だよりの発行、情報媒体を活用した情報提供など)	○	○	○	○	
2		健康危機管理能力の向上(研修の実施、訓練の実施)	○	○	○	○	
3		人材育成方針の運用(県職員派遣終了への対応、効果的な人材確保、自己啓発の推進)	○	○	○	○	
4		保健衛生審議会への進捗状況の報告			○	○	
5		保健所運営基本計画の見直し・検討	○	○	○		
6							
7							
8							
9							
10							
進捗							
上半期	進捗状況	計画どおり	コメント	保健所運営基本計画に基づき進めている。具体的には①ツイッター、フェイスブック等による情報発信、7月に保健所だよりを発行、②健康危機対策訓練として、保健所緊急メールを試行、防護服着脱訓練の実施、③国との人事交流、定期的な夜間自己啓発研修の実施、等に取り組んだ。			
進捗・実績							
年度末	成果指標名	保健衛生審議会への進捗状況の報告及び結果の公表回数		計画値	単位 2	実績値	単位 2
	達成状況【成果】	達成	コメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第1回保健衛生審議会(H27.11.26)にて、保健所運営基本計画の期間満了後の同審議会の運営役割について協議・決定をし、第2回同審議会(H28.2.18)では、保健所運営基本計画の平成27年度進捗状況の報告及び総括をし、保健所運営へのご意見をいただいた。いずれの議事及びその他の報告事項について、ホームページにて公表。</li> <li>・健康危機管理の取り組みとして、防護服着脱訓練の実施や、各種訓練へ積極的に参加した。</li> <li>・自己啓発研修を定期的に開催した。</li> <li>・キャリアパスに基づく評価を年2回実施。</li> <li>・定期的な保健所だよりの発行、ツイッターやメールなどの情報媒体を活用し、適宜情報発信を実施。</li> <li>・アクションプランの取り組みとしては完了し、今後は第5次総合計画に則り事業を推進していく。</li> </ul>			
	進捗状況【活動】	計画どおり					
	計画変更(次年度以後)	取組内容		コメント			
	計画値						
評価	評価者	石黒 博	※重要度A事業は副市長、重要度B事業は部局長を評価者とする				
	総合評価(A・B・C)	B	コメント 指示事項	成果指標の再検討などを行い、取り組みを工夫すること。			
	方向性	継続実施					

H27

## アクションプラン全体計画（平成23～27年度）

推進項目	11 マネジメントの強化・高度化				重要度	A		
番号・取組事業名	11005	消防局長経営方針に基づく事業の展開		作成日	H27.4.1			
担当部署	400600	消防局企画統制課		責任者	佐山 泰一			
取組年度	H23	～	H27					
効果	その他改善							
最終目標	<p>消防局長経営方針に基づいたマネジメントサイクルを確立し、効果的な消防行政の運営に努める。消防局では、『市民の安全性を高める消防行政』という基本理念の下、平成20年度から消防局長経営方針を定め、総合的かつ戦略的な消防行政を積極的に推進している。</p> <p>そして、この経営方針の実現のために、平成21年3月に「柏市消防局人材育成基本方針」を策定し、人材育成・研修体制の強化に取り組んでいる。</p>							
年度	区分	取組内容・目標						
平成23年度	遅れている	経営方針の公表（消防局ホームページ）と事業の進捗管理（局長によるヒアリング）						
平成24年度	計画どおり	経営方針の公表（消防局ホームページ）と事業の進捗管理（局長によるヒアリング）						
平成25年度	計画どおり	経営方針の公表（消防局ホームページ）と事業の進捗管理（局長によるヒアリング）						
平成26年度	計画どおり	経営方針の公表（消防局ホームページ）と事業の進捗管理（局長によるヒアリング）						
平成27年度	計画どおり	経営方針の公表（消防局ホームページ）と事業の進捗管理（局長によるヒアリング）						
成果指標	指標名	消防局長ヒアリングの回数				単位	回	
	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	最終値	
	計画値	3	3	3	3	3	3	
	実績値	3	3	3	3	3	3	
効果額	歳入増加	計画額	0	0	0	0	0	0
		実績額	0	0	0	0	0	0
	歳出削減	計画額	0	0	0	0	0	0
		実績額	0	0	0	0	0	0
	計	計画額	0	0	0	0	0	0
		実績額	0	0	0	0	0	0
見込まれる その他効果 (金額以外)	統合した組織運営を行うことで、戦略的な事業展開が可能となり、効率性・市民の安全性の向上							

アクションプラン(平成27年度)

推進項目	11 マネジメントの強化・高度化				重要度	A			
番号・取組事業名	11005	消防局長経営方針に基づく事業の展開	作成日	H27.4.1	更新日	H28.3.31			
担当部署	400600	消防局企画統制課	責任者	佐山 泰一	担当者	企画統制担当			
	区分	取組内容・目標							
平成27年度	計画どおり	経営方針の公表(消防局ホームページ)と事業の進捗管理(局長によるヒアリング)							
取組項目				4~6月	7~9月	10~12月	1~3月		
1	消防局長経営方針の公表(消防局ホームページ)			○					
2	消防局重点事業の公表(消防局ホームページ)			○					
3	消防局長ヒアリングの実施			○					
4	事業進捗状況調査(中間)の実施				○				
5	消防局長 中間ヒアリングの実施					○			
6	次年度消防局長経営方針及び重点政策の策定					○			
7	事業進捗状況調査(最終)の実施						○		
8	消防力整備方針の検討					○			
9	消防力整備方針の決定						○		
10									
進捗									
上半期	進捗状況	計画どおり	コメント	・消防局長経営方針に基づく消防局重点事業等について、事業進捗状況等、実情を把握するための中間ヒアリングを行い、マネジメントサイクルの確立に向けた、総合的かつ計画的な消防行政の運営に努めている。					
進捗・実績									
年度末	成果指標名	消防局長ヒアリングの回数		計画値	単位	回	実績値	単位	回
					3			3	
	達成状況【成果】	達成		コメント	消防局長ヒアリングなどによる進捗管理を行い、次年度における消防局長経営方針と重点事業を策定し、戦略的に取組むべき事業を明確化するなど、マネジメントサイクルの確立に向けて総合的かつ計画的に事業を進めることに努めた。				
	進捗状況【活動】	計画どおり							
計画変更(次年度以後)	取組内容			コメント					
	計画値								
評価	評価者	石黒 博		※重要度A事業は副市長、重要度B事業は部局長を評価者とする					
	総合評価(A・B・C)	B		コメント 指示事項	成果指標について再検討すること。				
	方向性	継続実施							

H27

## アクションプラン全体計画（平成23～27年度）

推進項目	11 マネジメントの強化・高度化				重要度	B		
番号・取組事業名	11007	小中学校マイプラン事業		作成日	H27.4.1			
担当部署	270100	学校教育課学校財務室		責任者	荒巻幸男			
取組年度	H24	～	H27					
効果	その他改善							
最終目標	<p>従来、予算の範囲で全小中学校に対してほぼ同額を事業費として配分していたが、新たな事業実施要領のもとで、各校の翌年度事業計画の内容を評価委員会で審査し、学校規模を反映させることで、より適正な予算配分を行うもの。</p> <p>また、申請様式を変更することで、各校の事業内容を各校が抱える課題や目標と関連付け、事業の効果的な執行を目指すもの。</p>							
年度	区分	取組内容・目標						
平成23年度		平成24年度事業から適用する「柏市マイプラン事業実施要領」を制定。同要領に基づき、平成24年度事業案を評価し、予算に反映。						
平成24年度	進んでいる	平成24年度事業の執行。平成25年度事業案を評価し、予算に反映。一部評価方法の見直しを図った。						
平成25年度	計画どおり	平成25年度事業の執行。平成26年度事業案を評価し、予算に反映。						
平成26年度	計画どおり	平成26年度事業の執行。平成27年度事業案を評価し、予算に反映。						
平成27年度	計画どおり	平成27年度事業の執行。平成28年度事業案を評価し、予算に反映。						
成果指標	指標名	事業の直接の対象となる児童生徒数の割合				単位	%	
	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	最終値	
	計画値		70	75	80	85	85	
実績値		86	86	86	85	85		
効果額	歳入増加	計画額					0	
		実績額		0				0
	歳出削減	計画額	0					0
		実績額	0	0				0
	計	計画額	0	0	0	0	0	0
		実績額	0	0	0	0	0	0
見込まれる その他効果 (金額以外)	<p>事業内容の評価により、学校側の積極的なアイデア創出が期待できる。各校児童生徒一人あたり事業費の平均化</p> <p>事業内容の評価により、学校側の積極的なアイデア創出が期待できる。各校児童生徒一人あたり事業費の平均化</p> <p>事業内容の評価により、学校側の積極的なアイデア創出が期待できる。各校児童生徒一人あたり事業費の平均化</p> <p>事業内容の評価により、学校側の積極的なアイデア創出が期待できる。各校児童生徒一人あたり事業費の平均化</p> <p>事業内容の評価により、学校側の積極的なアイデア創出が期待できる。各校児童生徒一人あたり事業費の平均化</p>							

H27

## アクションプラン(平成27年度)

推進項目	11 マネジメントの強化・高度化				重要度	B
番号・取組事業名	11007	小中学校マイプラン事業	作成日	H27.4.1	更新日	H28.3.31
担当部署	270100	学校教育部学校財務室	責任者	荒巻幸男	担当者	高野山 公彦
		取組内容・目標				
平成27年度	区分	計画どおり 平成27年度事業の執行。平成28年度事業案を評価し、予算に反映。				
取組項目			4~6月	7~9月	10~12月	1~3月
1	各学校に、新年度予算の配分額を通知し、執行を開始。		○			
2	各学校に、翌年度の事業計画書提出を依頼。			○		
3	提出された事業計画書を審査。				○	
4	審査結果と予算内示額との調整。					○
5	各学校に審査結果を通知。					○
6						
7						
8						
9						
10						
進捗						
上半期	進捗状況	計画どおり	コメント	4月に、当該年度の配当額を通知し、マイプラン事業が開始した。8月上旬にH28年度事業計画書の提出を学校あてに依頼(10/9締切)。10月に、提出された事業計画書の積算根拠等内容のチェックを行い、11月下旬の評価委員会に向け準備を進める。審査会では、事業内容が各校の抱えている課題や目標と関連付けられているか、予算配分が効果的であるかなど評価基準に添って審査していただく予定。		
進捗・実績						
年度末	成果指標名	事業の直接の対象となる児童生徒数の割合	計画値	単位 85	%	実績値 85
	達成状況【成果】	達成	コメント	・各学校において、事業計画をもとに学力向上支援員や部活動講師の依頼、観劇の公演委託等を実施し、計画的な予算執行を行った。		
	進捗状況【活動】	計画どおり		・平成28年度予算編成に際して、小規模校に係る予算配分上限額を見直した。また、各学校から提出された事業計画書を評価委員会で審査し、審査結果と配当予算額をそれぞれ内示した。		
	計画変更(次年度以後)	取組内容		コメント		
計画値						
評価	評価者	山口 秀明	※重要度A事業は副市長、重要度B事業は部局長を評価者とする			
	総合評価(A・B・C)	B	コメント 指示事項	各学校とも、概ね計画どおり事業を達成している。本事業は、学校毎に異なる教育課題への対応、学校及び校長の創意工夫による特色ある学校づくり等、様々なニーズに資するものであり、現在の取り組みを継続していきたい。		
	方向性	継続実施				

H27

## アクションプラン全体計画（平成23～27年度）

推進項目	11 マネジメントの強化・高度化				重要度	B	
番号・取組事業名	11008	学校配当予算における予算編成方法の見直し	作成日	H27.4.1	更新日	H28.3.31	
担当部署	270100	学校教育部学校財務室	責任者	荒巻 幸男	担当者	荒巻 幸男	
取組年度	H25	～	H27				
効果	その他改善						
最終目標	<p>現在、学校財務室予算の一部を各学校に配当し、学校長権限で予算を執行している。学校配当予算については、各校から提出された要求書をもとに、前年度実績等を勘案しながら査定していたが、児童・生徒数の変動を配当予算に十分反映できていないなどの課題が生じて来た。このため、教育予算のより公平な配分と学校経営力の向上を目的として、平成26年度予算編成から学校規模に応じた予算配当基準額を設定し予算編成を実施することとした。</p> <p>また、学校財務室の指定する7科目（消耗品、備品、修繕料等）の総額の範囲内で学校が予算配分を変更できるものとし、より学校の実態に合わせた予算配分を目指して行く。今後、基準額の見直し等を図りながら、実態に合った予算配分を進めることにより、予算執行率を向上させ、平成27年度決算時95%を目標とする。</p>						
年度	区分	取組内容・目標					
平成23年度							
平成24年度							
平成25年度	計画どおり	学校配当予算の主要な7科目について、予算配当基準額を2階建て方式で算定し、各校に基準額の範囲内での予算要求書の作成を依頼した。					
平成26年度	計画どおり	予算配当基準額により編成された学校配当予算を適切に執行するとともに、平成28年度予算編成に際して、一部予算科目の算定を見直した。					
平成27年度	計画どおり	H28年度学校予算編成時に基礎配分と比例配分の割合を前年度決算額等を参考に見直した。					
成果指標	指標名	予算執行率(配当予算指定7科目)				単位	%
	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	最終値
	計画値			93	94	95	95
	実績値			93	93	95	95
効果額	歳入増加	計画額					0
		実績額					0
	歳出削減	計画額					0
		実績額					0
	計	計画額	0	0	0	0	0
		実績額	0	0	0	0	0
見込まれる その他効果 (金額以外)				①学校の実態に合わせた効率的な予算配分を実現すること。②学校側が長期的な視点で予算の配分・執行を考慮することで学校の経営力の向上を図ること。	①学校の実態に合わせた効率的な予算配分を実現すること。②学校側が長期的な視点で予算の配分・執行を考慮することで学校の経営力の向上を図ること。	①学校の実態に合わせた効率的な予算配分を実現すること。②学校側が長期的な視点で予算の配分・執行を考慮することで学校の経営力の向上を図ること。	

H27

## アクションプラン(平成27年度)

推進項目	11 マネジメントの強化・高度化				重要度	B			
番号・取組事業名	11008	学校配当予算における予算編成方法の見直し	作成日	H27.4.1	更新日	H28.3.31			
担当部署	270100	学校教育部学校財務室	責任者	荒巻 幸男	担当者	荒巻 幸男			
	区分	取組内容・目標							
平成27年度	計画どおり	H28年度学校予算編成時に基礎配分と比例配分の割合を前年度決算額等を参考に見直した。							
取組項目				4～6月	7～9月	10～12月	1～3月		
1	前年度決算を参考に、各学校の新年度予算配当基準額を決定				○				
2	各学校に、新年度の予算要望書の作成を依頼				○				
3	各学校から提出された予算要望書の内容確認				○				
4	各学校の新年度予算要望についてヒアリング				○				
5	学校財務室による学校予算要望の査定・調整					○			
6	財政課へ予算見積書の提出					○			
7	新年度予算内示後、各学校へ配当予算の内示						○		
8									
9									
10									
進捗									
上半期	進捗状況	計画どおり	コメント	7月末に学校別に配当基準額を通知し予算要望書の作成を依頼した。各学校は、基準額総額の範囲内で予算配分の組み替えを行い、予算要望書を作成した。8月下旬から9月上旬にかけ、ヒアリング希望校のみ予算ヒアリングを実施し、各校の要望や大型備品の老朽状況を把握し、学校財務室による査定・調整を行った。この方式により学校規模等の実態に合った予算配分となっている					
進捗・実績									
年度末	成果指標名	予算執行率(配当予算指定7科目)		計画値	単位 95	% 95	実績値	単位 95	% 95
	達成状況【成果】	達成	コメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成27年度予算の執行においては、年間を通じて特段の問題は発生しなかった。特に、学校が予算を組み替えて要求できたこととなったことで、懸案である老朽化した理科実験台等の管理備品の整備が促進された。</li> <li>平成28年度予算編成に際して、予算編成基準額のうち、振興用消耗品費、管理備品購入費、図書購入費の算定を見直した。</li> </ul>					
	進捗状況【活動】	計画どおり							
	計画変更(次年度以後)	取組内容		コメント					
計画値									
評価	評価者	山口 秀明	※重要度A事業は副市長、重要度B事業は部局長を評価者とする						
	総合評価(A・B・C)	B	コメント 指示事項	毎年小幅に変動する児童生徒数及び学級数に応じて予算配分を合理的に調整でき、学校の事情に応じた予算科目の組み替えを柔軟に行える現行の仕組みは適切であり、学校配当予算の効率的な執行と大型備品の早期かつ計画的な整備に資している。今後も改良を重ねていきたい。					
	方向性	継続実施							